

令和8年度 保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金評価結果

●保険者機能強化推進交付金

目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	82.0点	64.9点	62.3点

目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	80.0点	73.1点	69.2点

目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	76.0点	58.3点	50.8点

目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	35.0点	53.6点	47.8点

保険者機能強化推進交付金合計

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
400.0点	273.0点	249.9点	230.1点

●介護保険保険者努力支援交付金

目標Ⅰ 介護予防／日常生活支援を推進する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	68.0点	65.5点	57.8点

目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	52.0点	51.2点	51.1点

目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	94.0点	75.1点	68.3点

目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
100.0点	35.0点	53.6点	47.8点

介護保険保険者努力支援交付金合計

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
400.0点	249.0点	245.3点	225.0点

● 総計

配点	長与町	長崎県平均	全国平均
800.0点	522.0点	495.2点	455.1点

● 全体順位

	順位／全体数	(R7年度)
長崎県	8位／21団体中	6位
全国	419位／1741団体中	299位

◎令和8年度評価結果の分析

【全体概況】 令和7年度の順位と比べると、全体順位が下がっている。

⇒昨年度と比較して総得点が3点減少しました。

全国平均や県平均が上昇傾向にある中で長与町の点数が微増したため、相対的に順位を落とす結果となった。

【評価が向上した点】 保険者機能:「地域づくり(目標Ⅰ)」や「人材確保(目標Ⅲ)」の点数が伸びており、長与町での取組が評価されています。

⇒昨年度と比較すると「人材確保(目標Ⅲ)」については他部局と連携を強化し、高齢者住まいの確保と生活の一体的支援に関する取組(支援ハウス入居者へ話し相手や囲碁相手のボランティアを派遣)を実施したことが評価された。

【評価が低下した点】 共通:「目標Ⅳ 高齢者が可能な限り自立した日常生活を営む」の点数が下がっている。

⇒これは、介護度の変化をみる指標で、特に2020年1月～2025年1月の変化率を評価する「中長期的な要介護度の変化率」は0点であった。

～令和8年度に向けた分析まとめ～

「在宅医療連携」や「人材確保」などの基盤は非常に強い一方で、「自立支援・重度化防止」のアウトカム指標等が弱点となっている。

1. 強みの維持 : 在宅医療・介護連携(94点)は全国トップレベルの水準であることから、この体制を引き続き維持する。
2. 最優先課題 : 「目標Ⅳ 高齢者が可能な限り自立した日常生活を営む」の改善が急務ですが、要介護状態の維持・改善率を向上させるためには、中長期的な視点に立った継続的な支援が必要です。今後、長与町では自立型支援を推進し、健康寿命の延伸を目指します。
3. 注意点 : 全国の平均点が上がってきているため、現状維持では相対順位が下がってしまう。